

災害廃棄物処理に係る訓練（オンライン）の実施について

令和3年5月19日
循環型社会課

1 目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、出水期を前に、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的として、初動対応の中でも特に重要となる一次仮置場の設置・運営に係る訓練（オンライン）を実施する。

※新型コロナ感染拡大防止集中対策期間であることを考慮
※昨年度実施した実地訓練は開催時期を含めて検討中

2 日時

令和3年5月28日（金）13時00分～15時00分

WEB会議システムを利用したオンライン開催

3 参加者（予定）

県、県内23市町及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、広島県清掃事業連合会）の職員

4 内容等

- 一次仮置場は、発災直後に災害廃棄物を一時的に搬入・保管する場所であり、被災地から災害廃棄物を迅速に撤去するため、その設置・運営は初動対応の中でも、非常に重要である。（平成30年7月豪雨やその後の全国的な災害においても仮置場の設置が課題となっている。）
- 訓練では「一次仮置場の設置運営の手引き」や「災害廃棄物処理に係る市町等初動マニュアル」の内容確認を改めて行うとともに、昨年度の訓練結果の共有や最新の災害対応の知見提供等を通じて、出水期における災害発生に備える。
 - ・ 一次仮置場の設置に係るWEB研修
 - ・ 仮置場の混雑解消のための他県取組み事例の紹介

【参考】昨年度の実地訓練の様子



①レイアウト検討・住民広報資料作成



②仮置場の運営（廃棄物の運搬）



③仮置場の運営（廃棄物の積み下ろし）